

地域再生計画「しまなみ、ゆめしま、とびしま 3海道を支える港づくり計画」検討会

日時：令和5年6月15日（木）

形式：書面開催

次 第

- 1 議題 地域再生計画「しまなみ、ゆめしま、とびしま 3海道を支える港づくり計画」の事後評価について
 - ・地域再生計画の概要
 - ・伯方港の概要
 - ・宮窪漁港の概要
 - ・小大下漁港の概要
 - ・宗方漁港の概要
 - ・弓削漁港鯨地区の概要
 - ・事後評価調書

出席者名簿

○委員

愛媛県漁業協同組合本所今治事業部	部長	二宮 隆
公益社団法人今治地方観光協会	事務局長	山崎 昭二
芸予汽船株式会社	代表取締役社長	赤尾 宣宏

○事務局

今治市 建設部港湾漁港課	課長	重松 義文
	課長補佐	森 新祐
上島町 産業建設部農林水産課	課長	藤田 直弥
	主事	西本 康晃
愛媛県 土木部河川港湾局港湾海岸課	主幹	村上 宏児
	計画係長	藤枝 晃

○オブザーバー

愛媛県 農林水産部水産局漁港課	計画係長	伊藤 公則
	技師	近藤 孝俊

地域再生計画「しまなみ、ゆめしま、とびしま 3海道 を支える港づくり計画」検討会設置要綱

(名称)

第1条 本会は、地域再生計画「しまなみ、ゆめしま、とびしま 3海道を支える港づくり計画」検討会（以下、「検討会」という。）と称する。

(目的)

第2条 本会は、地域再生計画「しまなみ、ゆめしま、とびしま 3海道を支える港づくり計画」に関する事業計画、事業評価について審査を行い、もって適正かつ円滑な事業実施を図ることを目的とする。

(検討事項)

第3条 検討会は、前条の目的を達成するために次に掲げる事項について調整及び検討を行う。

- (1) 事業計画に関すること。
- (2) 事業評価に関すること。
- (3) 事業実施上の課題に関すること。

(組織)

第4条 検討会は、別表1に掲げる委員をもって構成する。

- 2 委員は、必要に応じて、検討会に諮ったうえで変更することができる。

(事務局)

第5条 検討会の事務を処理するため、事務局を愛媛県土木部河川港湾局港湾海岸課に置く。

(その他)

第6条 この要綱に定めるもののほか、検討会の運営に必要な事項は、その都度、検討会で定める。

附 則

この要綱は、平成31年3月19日から施行する。

地域再生計画「しまなみ、ゆめしま、とびしま 3海道
を支える港づくり計画」検討会委員名簿

委員の別	所属	職名	氏名
委員	愛媛県漁業協同組合 本所今治事業部	部長	二宮 隆
	公益社団法人 今治地方観光協会	事務局長	山崎 昭二
	芸予汽船株式会社	代表取締役社長	赤尾 宣宏
事務局	愛媛県土木部河川港湾局 港湾海岸課	主幹	村上 宏児
	今治市建設部港湾漁港課	課長	重松 義文
	上島町産業建設部 農林水産課	課長	藤田 直弥

地域再生計画の概要

1. 地域再生計画の名称

しまなみ、ゆめしま、とびしま 3海道を支える港づくり計画

2. 地域再生計画の作成主体の名称

愛媛県、今治市、上島町

3. 地域再生計画の区域

今治市及び愛媛県越智郡上島町の区域の一部（伯方港、宮窪漁港、小大下漁港、宗方漁港及び弓削漁港鯨地区）

4. 計画の概要

当該地域には、島々を自転車で渡ることができる大規模橋梁で結ばれた「しまなみ海道」「ゆめしま海道」「とびしま海道」の3つの海道がある。これらの海道には斜張橋やつり橋等多種多様な橋や多島美等を備えており、サイクリストや観光客は増加傾向にあり、地域な賑わいを見せている。この賑わいを持続するために、地域活性化のための重要な基盤となる小型船だまりの整備や浮棧橋改良を実施し、航路利用の安全確保や水産業振興等を図る。

平成27年3月27日 内閣総理大臣が認定



地域再生計画に位置付けている事業

港湾事業

<今治市>

- 伯方港（小型船だまり）

漁港事業

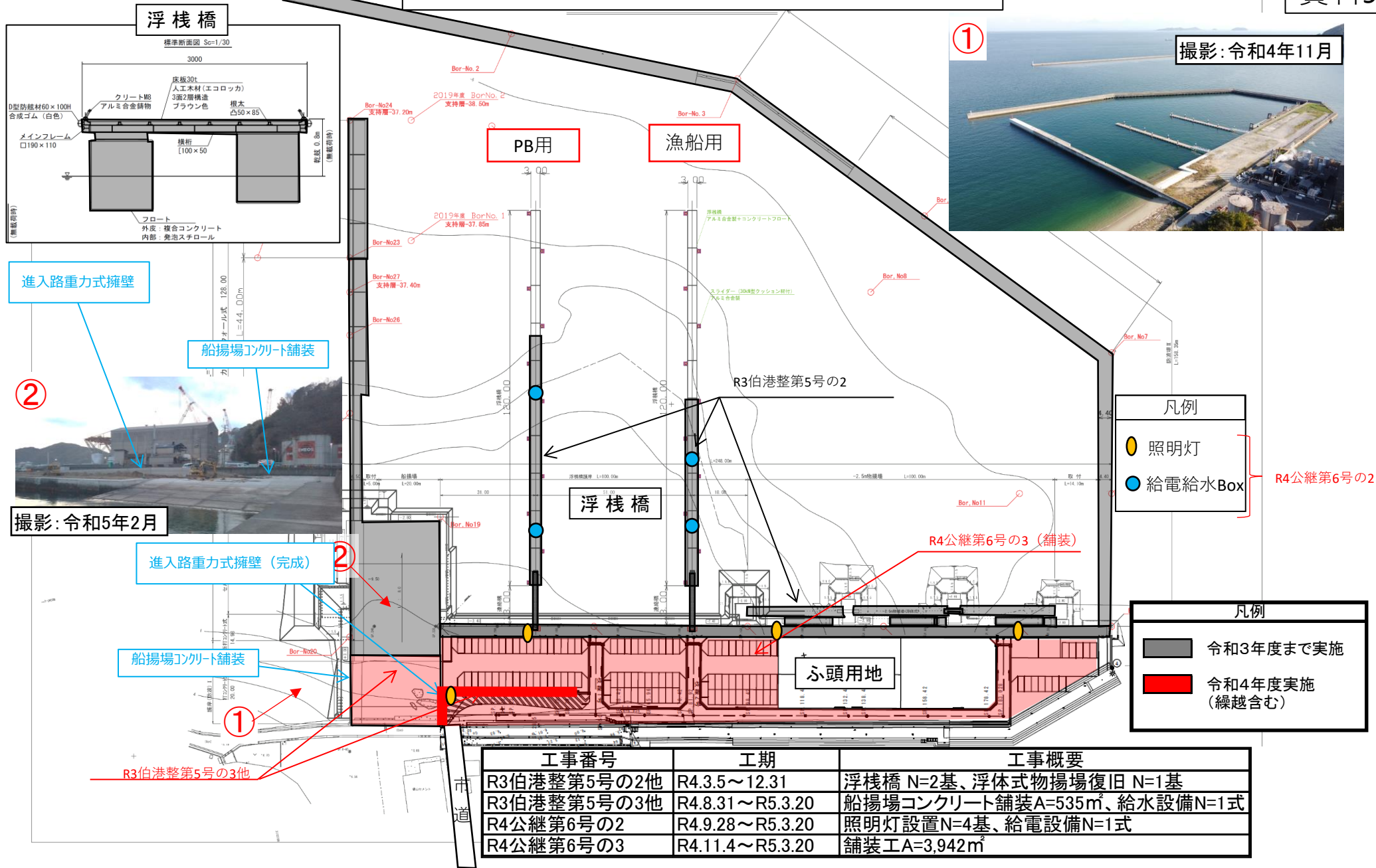
<今治市>

- 宮窪漁港（浮棧橋補修）
- 小大下漁港（浮棧橋補修）
- 宗方漁港（浮棧橋補修）

<上島町>

- 弓削漁港鯨地区（浮棧橋補修）

伯方港小型船だまり整備概要



工事番号	工期	工事概要
R3伯港整第5号の2他	R4.3.5~12.31	浮棧橋 N=2基、浮体式物揚場復旧 N=1基
R3伯港整第5号の3他	R4.8.31~R5.3.20	船揚場コンクリート舗装A=535㎡、給水設備N=1式
R4公継第6号の2	R4.9.28~R5.3.20	照明灯設置N=4基、給電設備N=1式
R4公継第6号の3	R4.11.4~R5.3.20	舗装工A=3,942㎡

漁港事業 宮窪漁港・小大下漁港・宗方漁港 [愛媛県今治市]

1. 港の概要

今治市島しょ部は、愛媛県北部に位置し、芸予諸島に属した複数の島々から構成されている。これらの島々を繋ぐ瀬戸内しまなみ海道は、近年のサイクリングブームを追い風に、サイクリストの聖地として注目を集めており、地域は賑わいを見せている。

また、3漁港においては、瀬戸内しまなみ海道開通前から定期便が運航しており、海上交通ネットワークの基盤施設として重要な役割を果たしている。

【定期便及び航路】	宮窪漁港	フェリーのしま7	(宮窪～鶴島～尾浦)
	小大下漁港	フェリー第二せきぜん	(今治～大下～小大下～岡村)
		旅客船とびしま	(今治～宗方～大下～小大下～岡村)
	宗方漁港	フェリーみしま	(今治～岡村～宗方～木江)
		旅客船とびしま	(今治～宗方～大下～小大下～岡村)

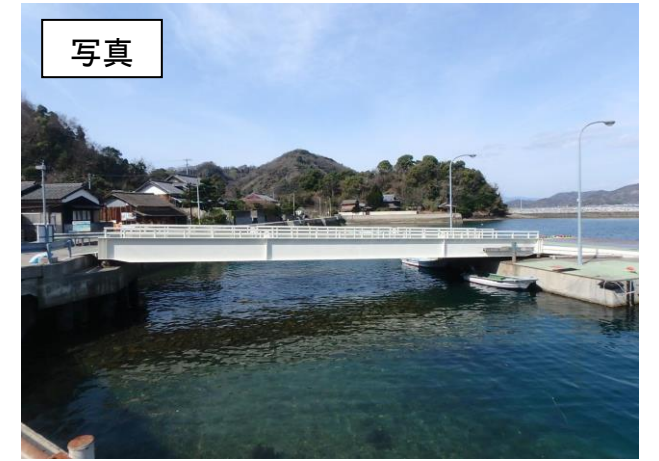
2. 事業概要

宮窪漁港・小大下漁港・宗方漁港について、老朽化している浮棧橋を改修し、船舶及び利用者の安全な利用環境を保全し、近年増加している観光交流人口の増加率の維持を図る。

3. 事業概要

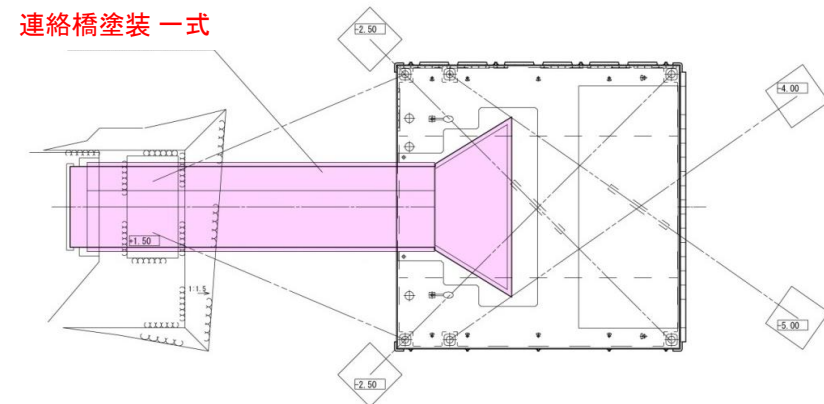
宮窪漁港	(平成28年度)	連絡橋塗装 一式、	防滑舗装 一式、	マンホール補修 一式
小大下漁港	(平成30年度)	連絡橋塗装 一式		
宗方漁港	(平成28年度)	ひび割れ補修 一式、	防舷材補修 一式	
	(平成29年度)	チェーン交換 一式		

小大下漁港



浮棧橋平面図

連絡橋塗装 一式

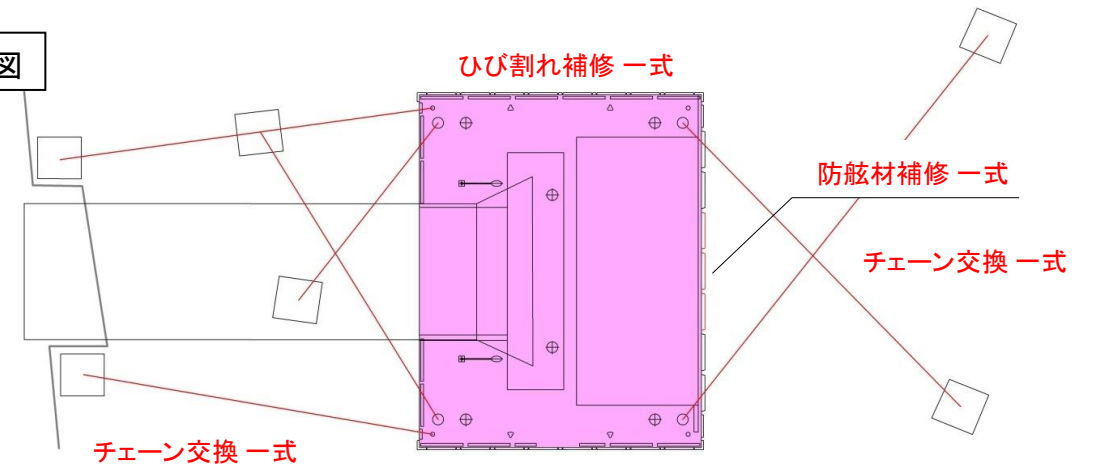


宗方漁港

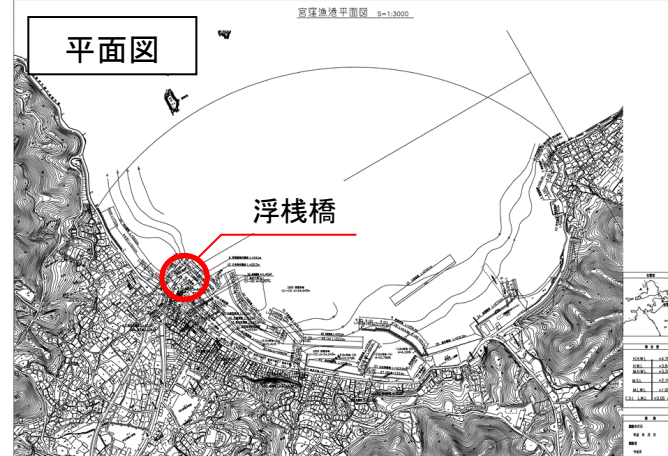


浮棧橋平面図

ひび割れ補修 一式



宮窪漁港

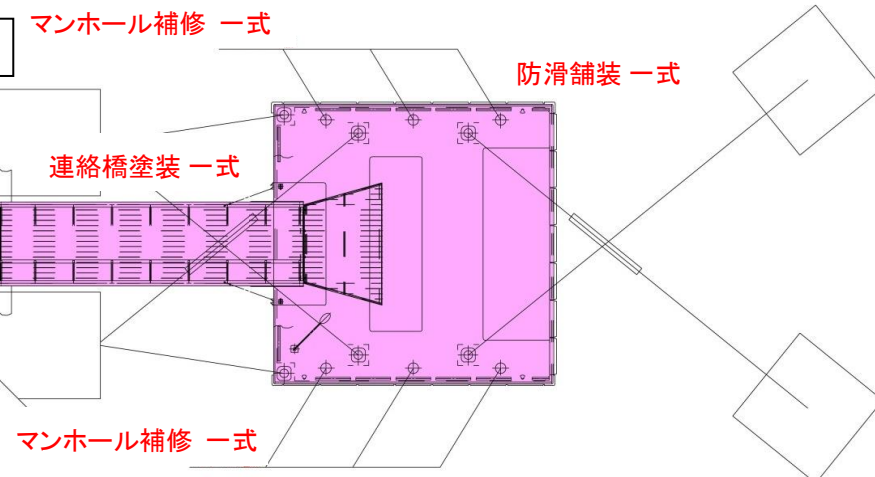


浮棧橋平面図

マンホール補修 一式

防滑舗装 一式

連絡橋塗装 一式



マンホール補修 一式

チェーン交換 一式

防舷材補修 一式

チェーン交換 一式

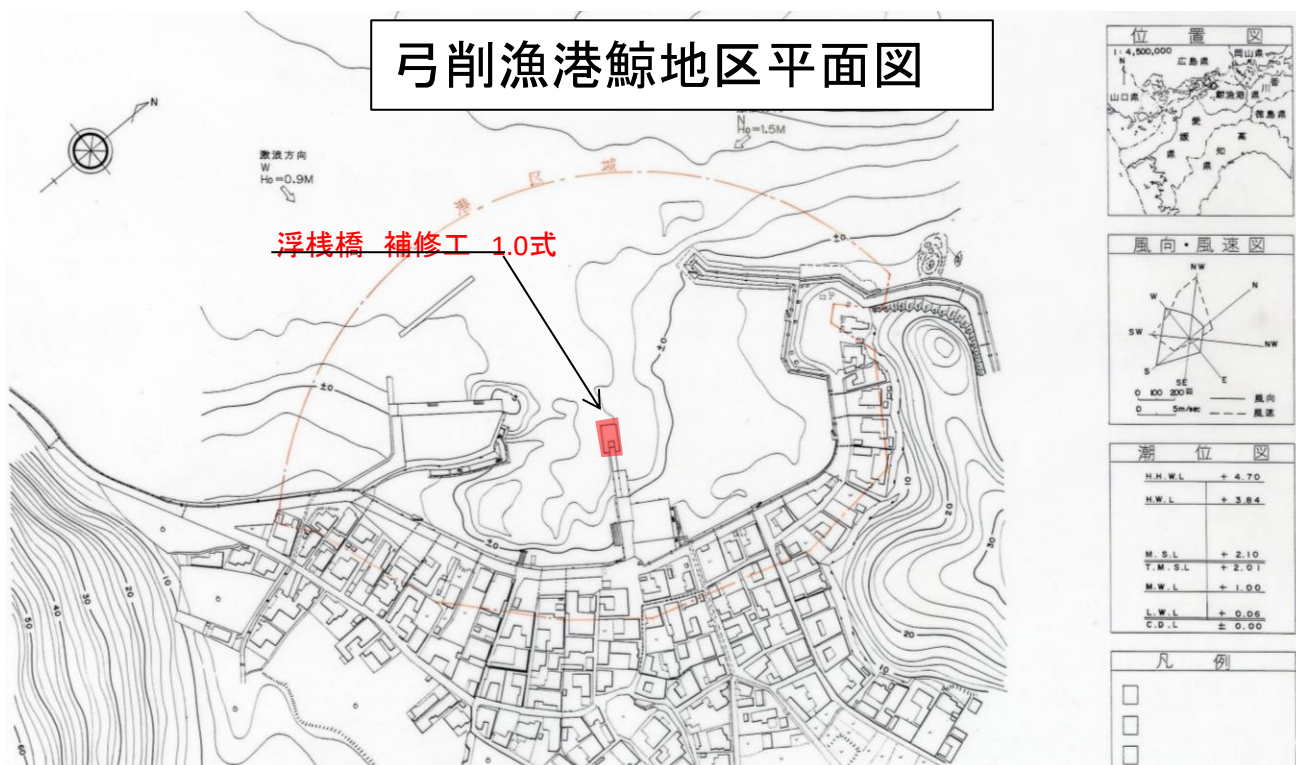
弓削漁港鯨地区整備概要

○整備概要

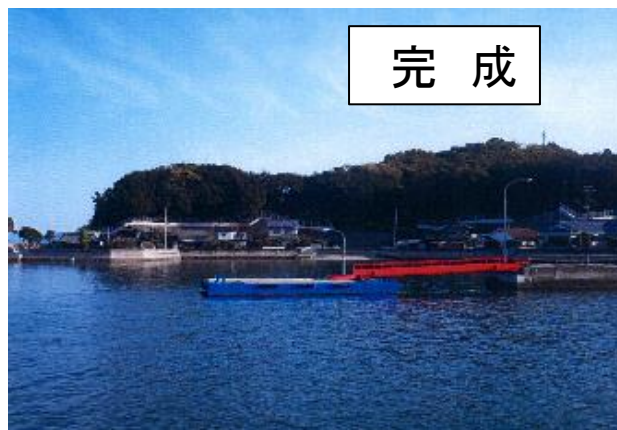
弓削漁港鯨地区の浮棧橋老朽化により当地区漁業に支障をきたしていたため、地方創生港整備推進交付金事業により補修・長寿命化することで漁業を促進し、地域水産業の活性化を目的として、平成28年度及び平成29年度の2箇年で整備しました。

具体的な施工内容としては、ウレタンの注入・浮棧橋及び連絡橋の塗装、チェーンの交換を行いました。

○平面図



○着工前・完成写真



地域再生計画（地方創生港整備推進交付金）事後評価調書

【資料11】

都道府県名	愛媛県	事業実施主体	愛媛県、今治市、上島町	地域再生計画名	しまなみ、ゆめしま、とびしま 3海道を支える港づくり計画
計画期間	平成27年度～令和3年度	評価責任者	愛媛県土木部河川港湾局港湾海岸課長、今治市建設部港湾漁港課長、上島町産業建設部農林水産課長		

	指標		基準値		中間目標値		最終目標値		事後評価	達成状況		最終目標値の実現状況に関する評価		
	指標1	指標2	基準年度	H24	年度	中間実績	基準年度	最終実績		指標総数	達成数			
①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標1	漁獲量の維持	3,163t	H24	3,163t	H29	1,493t	3,163t	R3	666t	△	2	1	大口の養殖業が市場の需要変動に追随して撤退したことなどにより、漁獲量が減少した。
	指標2	観光交流人口の増加	46,400台	H25	51,600台	H29	76,682台	54,400台	R3 (R元)	30,865台 (64,164台)	○	2	1	漁港の係留施設の整備効果及びその他の取組により、しまなみ海道沿線のサイクリングを楽しむ環境が整いつつあり、レンタサイクル利用者は順調に増加していたが、令和2年度に発生した新型コロナウイルス感染症により、利用者が激減した。なお、感染症発生前の令和元年度においては、目標を達成している。
②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の実現状況	指標1													
	指標2													
③事業の進捗状況	事業名		整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価								
			計画	中間年度 (H29)	最終実績									
特別措置を適用して行う事業	港湾施設（伯方港）		外郭施設 係留施設	—	外郭施設 係留施設	各施設整備は、計画期間前半は予算確保できず進捗が悪かったが、後半は概ね計画通り順調に進捗し完成した。								
	漁港施設（宮窪漁港、小大下漁港、宗方漁港）今治市		係留施設	係留施設	係留施設	各施設整備は、概ね計画通り順調に進捗し完成した。								
	漁港施設（弓削漁港鯨地区）上島町		係留施設	係留施設	係留施設	各施設整備は、概ね計画通り順調に進捗し完成した。								
その他の事業	愛媛マルゴト自転車道整備事業		県と市町が連携し、サイクリング26コースを設定し、ブルーライン、コース案内板等を整備し、安全で快適なサイクリング環境の整備を行っている。			サイクリストのレベルに応じたサイクリングコース紹介や、コースの動画を提供する愛媛マルゴト自転車道ホームページなど、充実したソフト対策と相乗効果により、瀬戸内しまなみ海道を中心としたサイクリングパラダイスが定着しつつある。								
	漁協まつり		地元で水揚げされた鮮魚や加工品を低価格で販売しているほか、お魚料理教室など、地産地消活動を積極的に行っている。			今治市内の愛媛県漁協11支所で構成する今治地区漁業協同組合協議会により、魚食普及を推進することを目的に平成18年から始まり、周辺市域からの参加者も多く、約8,000人の参加者で賑わい、今治市の大きなイベントとして根付いている。								
	上島架橋整備事業（岩城橋工区）		離島で構成する上島町の一体化を支援するため、4島を3橋梁で結ぶ事業で、弓削大橋、生名橋は完成しており、岩城橋の整備を進めている。			5径間連続鋼・コンクリート混合斜張橋、橋長735.0m、道路幅員5.5(7.5)mの岩城橋は、2022年3月20日開通。弓削島、佐島、生名島、岩城島を結ぶ「ゆめしま海道」が橋でつながることになり、島民の日常生活の利便性向上はもちろん、多島美を楽しむことができるサイクリングコースとしても期待されている。								
計画外で独自に実施した事業	サイクリングしまなみ		サイクリング実行委員会（愛媛県、今治市、上島町等で構成）主催により、しまなみ海道にて、高速道路を規制してサイクリングを楽しむイベント			島と島をつなぐ個性あふれる橋を含む高速道路の走行がすべてのコースに含まれており、普段は自動車では走ることができない道路で、開放感あふれるサイクリングを楽しむことができる。令和元年11月に国から「ナショナルサイクルルート」の一つとして指定され、日本を代表し世界に誇りうるサイクリングコースでもある「瀬戸内しまなみ海道」を舞台に、国内外から7,000名の参加者を迎えて国際サイクリング大会を開催している。穏やかな海に、たくさんの小さな島々が浮かぶ風光明媚な瀬戸内海を駆け抜けるサイクリングロードは、「サイクリストの聖地」として広く世界に知られている。								
④評価方法	地域再生計画「しまなみ、ゆめしま、とびしま 3海道を支える港づくり計画」検討会													
⑤事後評価の公表方法	愛媛県土木部河川港湾局港湾海岸課のホームページに掲載													
⑥計画全体の総合評価	本地域再生計画では、港整備交付金を活用した港湾整備と漁港整備を一体的に実施し、漁港整備では計画的な事業実施及びその他の事業との相乗効果により、数値目標の一つである、観光交流人口の増加に繋がる効果について、新型コロナウイルス感染症による減少を除外して、概ね発現できていると考えている。 一方、もうひとつの数値目標である漁獲量の維持について、港湾施設の整備は進めてきたものの、大口の養殖業が市場の需要変動に追随して撤退したことなどの影響が尾を引いたことにより、漁獲量の維持は困難な見込みである。													
⑦今後の方針等	本地域再生計画においては、漁港整備に関しては円滑に整備が進み、観光交流人口の増加は、新型コロナウイルス感染症による減少は除外して、目標のほぼ達成が見込まれる。このため、引き続き本地域再生計画に沿って事業を推進していきたい。 一方、港湾整備に関しては、計画期間前半は事業費の確保が困難な状況が続いたこと、および、大口養殖業者の撤退という港湾整備と無関係な要因による漁獲量の低下があったものの、後半には計画通りに事業費を確保し事業進捗が図れたため、貨物船や快速艇と小型船の水域分離による、港内の安全性向上による漁獲量回復に期待したいと考えている。													